

岡山ESDプロジェクト基本構想改訂の概要

2014まで

(これまでの取組)

市・市民団体・教育研究機関などでゆるやかなネットワークを形成し国連ESDの10年に併せESDを推進

岡山市域内

重点取組組織

地域組織 公民館 行政
大学 市民団体 メディア
学校 企業 など

岡山ESD推進協議会

委員会 事務局(ESD担当課)
運営委員会 企画委員会

研究教育機関・市民団体・事業者・行政など代表者から構成

<目的>

持続可能な社会の実現に向け、共に学び、考え、行動する人が集う地域づくり

<目標>

◎持続可能な社会づくりに対する知識や理解の普及
◎主体的に取り組む人の輪を地域全体に広げる。
◎推進組織の育成、能力向上

<主な取組>

○重点取組組織の活動支援
○ESD研修・教材作成
○ESDイベント等による普及
○各種交流

ユネスコ世界会議

ESD岡山モデルの発信

世界会議で岡山の成果を発信

- 公民館やユネスコスクールなど地域コミュニティを核に推進
- 多様な世代、団体の参加
- 専従による継続的支援

[取組組織]

2005年/ 48団体→2014年/ 228団体

課題

- 地域の将来像の共有
- 次世代の人材育成
- 異なる組織間の連携
- 企業の参加 など

世界会議の成果の継承

今後のESD推進計画「グローバル・アクション・プログラム(GAP)」がユネスコから公表される。[若者][地域コミュニティ]など優先行動5分野が示される。各種会議の宣言を採択。

<岡山の取組の成果>

→今後も取組を継続してGAPへの貢献を約束。

岡山ESDプロジェクト
2015-2019基本構想へ

2015から

(2015-2019の5年間の取組)

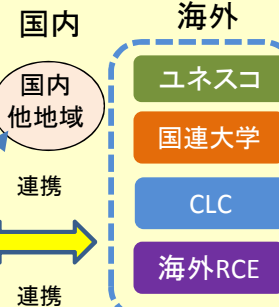
地域でのESDの推進と、国内外とのネットワークづくりを推進。「若者」「地域コミュニティ」「企業」「顕彰」など8つの重点取組分野。

岡山市域内

岡山ESD推進協議会



<推進体制>



<目的>

◎岡山地域と地球の未来について、共に学び、考え、行動する人が集う岡山地域を実現する。
◎岡山地域での取組を通して、世界中で、環境・経済・社会各分野において調和のとれた持続可能な社会の実現に貢献する。

<重点取組8分野>

◎持続可能な地域の姿の共有
◎ユース・人材育成
◎地域コミュニティ・公民館
◎学校
◎優良事例の顕彰
◎ESD活動の拡大
◎企業の取組促進
◎海外国内との連携

それぞれの組織が連携

<主な取組>

◎地域の将来像を学ぶワークショップ
◎社会課題解決の協働取組
◎ESD人材育成研修
◎全小中学校対象のESD研修
◎ESDアワードの創設
◎海外や国内・地域等の連携など

<指標及び目標>

(2019)
・参加団体 300団体
・ESDコネクター人数 200人
・学校基本計画ESD位置づけ 100%
・アワード参加(5年間) 100団体
・学校公民館連携、協働取組数 など